

研究構想シート		学校名	松江市立第四中学校
		氏名	岩崎香織
A 研究主題	ウェルビーイングな学校づくり～生徒も教職員も地域も心と体を良い状態にしよう		
B 研究の目的	研究を通して生徒に「生きる力」を育む		
C 子どもの実態 ○学校に行くことが楽しい と思える生徒が6割 ○不登校・不登校傾向生徒が 各学年10人前後いる ○授業中に徘徊する生徒 ○授業に参加しにくい生徒 ○力を伸ばしたいと思う生徒 ○地域のために力を発揮したい と思う生徒	E 手立て・内容（研究仮説） ○自己効用感を高める授業を行えば、 自ら学ぼうとする生徒が増えるだろう。 ○授業や学校行事等を振り返るための視点を適切に示せば、 生徒の自己効用感が高まり、より積極的に人と関わろうとする生徒が増えるだろう。 ○道徳教育が充実し、生徒に豊かな道徳的心情・確かな道徳的判断力が身に付けば、 自他を大切にし、だれとでも分け隔てなく接することができる生徒が増えるだろう。	D めざす子どもの姿 自ら課題や展望を見出し、 粘り強く挑戦し、学ぶ生徒 ↓ 今年度は特に ○学習に意欲的に取り組もう とする生徒 ○自ら積極的に人と関わろうと する生徒 ○自他を大切にし、だれとでも 分け隔てなく接する生徒 をめざす	
	F 検証方法  ○授業改善、特別活動の内容の精選 ○キャリアパスポートの活用 ○国・県学力学習状況調査の質問紙への回答		
	G 研究計画  ①生徒の実態、目指す姿、目指す姿を具現化するための手立てを考える ②授業づくり、つながりづくり、ふりかえりの3つの視点で実践内容を考える ③1学期中にアンケート調査および年度初めキャリアパス記述で実態把握 ④2学期～3学期に各実践 ⑤3学期末にアンケート調査およびキャリアパス記述で変容を見取る ⑥検証内容をもとに次年度実践について考える		